

がん征圧・患者支援チャリティイベント



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 佐賀 2016

佐賀市「どん3の森」

2016年

9月24日(土)・25日(日)

12:00開会

12:00閉会

開催(予定)

「あなた」と向き合う「あなた」へ

「あなた」は患者本人かもしれません、
その家族や友人かもしれません、
お仕事でがん患者さんやその家族を支えている人
かもしれません、遺族かもしれません

このイベントをきっかけに、がんという
一つの病気を通じて、経験や思いを分かち合い
支えあえる仲間と出会いませんか。



2015開会式集合写真



■ごあいさつ

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016
佐賀実行委員長
木原 慶吾

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015佐賀大会には、多くの方々からのご支援ご協力ご参加をいただきましたこと深く感謝申し上げます。おかげさまで無事に大会を終了することができました。ありがとうございました。

リレー・フォー・ライフは、がん撲滅・がんを負けない社会を作るために、毎年開催することとなっております。2016佐賀大会に向けて、私たち実行委員会もさらなる努力を重ねてまいりますので、皆様方からの力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

リレー・フォー・ライフ3つのテーマ

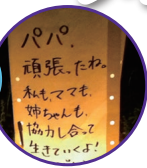
祝う



Celebrate

がんの告知を乗り越え、
がんとともに生きてきた
サバイバー、ケアバギー
をたたえ、祝福します。

しのぶ



Remember

がんで亡くなった愛する人
をしのび追悼します。また、
病の痛みや悲しみと向き合
っている人々を敬みます。

立ち向かう



Fight Back

がんの予防や検診を啓
発し、征圧のための寄
付を募り、がんを負けな
い社会をつくります。

■リレー・フォー・ライフについて

リレー・フォー・ライフ(RFL)は、がんサバイバー(患者)、ケアバギー(家族、遺族、支援者)をたたえ、地域社会全体でがん制圧を目指すチャリティイベントです。

太陽・月・星をかたどったロゴは、24時間がんを闘うことを象徴し、ブレンドカラーは紫色です。1985年、アメリカ・ワシントン州シアトル郊外で、アメリカ人外科医が患者救済やがん制圧・予防のために始めました。「がん患者は24時間、がんを闘っている」をメッセージにトラックを24時間走り続け、寄付を募りました。ともに歩き、語り合うことで生きる勇気と希望を生み出したいというこのイベントは、2012年時点で全米5,500か所、世界21か国で開催され、全米での年間寄付額は320億円に上ります。日本国内では、2006年9月、茨城県つくば市で第一歩を踏み出し、2013年度は全国42か所で開かれ、年々開催地が増え続けています。そこで集まった寄付金は若手医師の育成、患者相談や情報提供などに役立てられています。

リレー・フォー・ライフに参加するには!

歩いて

サバイバー(患者)やケアバギー(家族、遺族、支援者)はもちろん、どなたでも参加できます。仲間とチームを組んで夜通し、交代で歩き、たすきをつなごう。

ボランティア スタッフとして

ボランティアスタッフとして、佐賀のリレー・フォー・ライフと一緒に作って、頑張らしましょう。

ルミナリエで

当日参加の方はもちろんですが、参加できない方も、ルミナリエバッグにメッセージをお書きください。がんを闘っている仲間や亡くなった人に祈りをささげ、当日夕方、会場に明かりを灯します。

寄付・協賛金で

リレー・フォー・ライフのイベントの趣旨にご賛同くださる企業(団体)や個人でのご協力をお願いします。各地で年間通して、募金箱の設置をしていただくこともできます。

寄付金の使い道について

皆様からお預かりした大切なお金はRFL開催に要した費用を除き、「公益財団法人 日本対がん協会」へ寄附され、日本対がん協会を通じ、以下の幅広い対がん活動に使われています。

- ①各種がん研究への助成
- ②がん検診の受診率向上
- ③若手医師への奨学金
- ④電話・面談 がん無料相談